

2019年10月29日

消化器内科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 肝門部領域悪性胆管閉塞に対する術前胆道ドレナージ方法の多施設共同後ろ向き観察検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道医療センター 菊地 誠志

[研究責任者名・所属] 多谷 容子 北海道医療センター 消化器内科

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

北海道大学病院・栗谷 将城・消化器内科・光学医療診療部 助教

[共同研究機関名・研究責任者名]

手稻溪仁会病院	林 毅
札幌医科大学病院	吉田 真誠
斗南病院	庵原 秀之
NTT 東日本札幌病院	小野寺 学
岩見沢市立病院	大和 弘明
北見赤十字病院	江平 宣起
北海道医療センター	多谷 容子
市立函館病院	工藤 大樹

[研究の目的] 悪性肝門部領域胆管閉塞に対する術前待機中の胆道ドレナージ方法の有用性と安全性の差異を明らかにすること。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

悪性肝門部胆管閉塞の患者さんで、2011年1月1日以降、2018年12月31日までの間に、根治的外科的切除を受けている方。

○利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、治療歴、症状、Performance Status、検査結果（血液検査、画像検査（CT画像、MRI画像、超音波画像、X線画像）、内視鏡検査、病理学的検査）、手術の詳細、手術に伴う偶発症の有無、生存情報

[研究実施期間]

実施許可日～2022年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市西区山の手5条7丁目1番1号

北海道医療センター 消化器内科医師 多谷 容子

電話 011-611-8111 FAX 011-611-5820